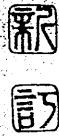


中等習字教本

香川松石書



卷三

K220.72  
28a  
3

K220.72

28a

3

香川松石書



# 中等習字教本

卷三

## 例言

一 本書は、主として中學校に於ける習字科用教科書として編纂せるものなり。故に、専ら文部省所定の教授要目に準據し、第一卷・第二卷には、楷書・行書を、第三卷には草書を用ひたり。

一 文字配列の順序は、専ら運筆の難易を斟酌して、その開架結構の要訣を會得せしむると同時に、自ら相類似せる文字の異同を識別せらるゝやう工夫せり。而して、所々に細字にてその類字より成れる熟語を挿入せるは、一はその文字の應用を知らしめ、一は細字の練習を爲さしめんがためなり。

一 草書の用は、おもに日用の書簡文等にあるを以て、本書も亦、實用を主とし、第三卷には、多く書簡に關する材料を載せて、これに習熟せしむるやうにせり。

一 所々に挿入せる名言佳句は、専ら精神修養に資すべきものを採れり。臨池の際、反復誦讀せしめば、多少學生を裨益せしむることあるべしと信ずればなり。巻尾に教育勅語・戊申詔書等を添へたるも、亦、同趣意に出づるものなり。

明治四十三年九月

編者しるす

子前言也考

三十一

田魚直物滿

水名有冒卷五

海州何儀津津

樓梅終極輕狂

察察不書第及及

東坡先生集卷之五

先生集卷之五

威威塾塾難難

三ノ五

後後後後後後

高堂拙室新地僻  
芳翰惠札雅甚迂生

三六

令息緣兒光來拜  
枉駕推系首惠激意



士不可以不弘

三ノ七

毅任重而為遠

學而不思則罔

三ノ八

思而不學則殆

清福健勝菱契飲盡  
周旋盡力而倒運感

希望懇願業謝感銘  
諫忽失禮遺憾殊念

富家之用買心田

三十

出中自之子種粟

安居不用架高臺

畫中自有黃金屋

依賴照會容教於豫  
推量傳了承知諒察

三十二

存外極少至極殊更  
隨分折角何存吃度

持屋百系郎の言相見いた  
志を山紀談一讀したる度

當時清不用あははるむ三日間  
持借教をまゝ久也清聴許

を以て大孝小孝座の故首。  
謹啓今日に於てかゝる事

を申上るべき事ある事  
小孝座の故も老父の昨夜



末發熱甚く之を言は看  
護ふ油断せざるやう醫治せ

注意これありては  
の毒は少く減らすに伴

い——うねる百悪——からず  
出了承願ひあげは持え。

今圓合息の御姪儀おとと  
おし来る廿日古披露のため

とそ態と古就招を奉りし  
有り難之由礼申上げの業障

を推ても業上りてまじき善よ  
いふも明十のより友命とよ

て廣島縣に出張致す筈の  
旨を感あるは厚く喜ばる

背き申すべしは品粗末なる  
ら祝賀の寸志を表すまで

ふ逢星いふしを敬也。

入院中は度々泣見舞下

され法厚情の程感謝ふ堪  
へるも更後法陰様より病

も全治し一昨日退院は皆  
治癒の上を祝ふるに  
あつた

午後四時頃より  
少安し  
僅し  
て祝意を  
表し

夜の音は空を渡る鳥の足音  
下され夜は静けさを帯びては案

内中志あげを学す。

明治六乙未年三月三日

形どあり如法事相學心積り  
ふふふに法事相學心積り

もあらねど学見に止るまふ  
如法事相學心積り



樹欲靜而風不息  
子欲養而親不待

三廿三

學善見其德日彰  
遂非則其惡弥積

少年易老學難成  
一寸光陰不可輕

三十四

未覺池塘春草夢  
階前梧葉已秋聲

男兒立志出鄉關  
學業不成死不甘

埋骨何處是佳地  
人間到處有青山

志未だぬの女まはるる人  
あき日にふはるる花

君はあめ世のくえん何のま  
まてかたある命ありきは

御誓

あまのふりかへりては  
かたじけなくも  
かたじけなくも  
かたじけなくも

清歌

美のまは玉の光  
あまのふりかへりては  
かたじけなくも  
かたじけなくも

教育勅語

朕惟我皇祖皇宗肇國宏遠樹  
德深厚我臣民克忠克孝位北

一心世濟于茲此我國體之精  
華而教育之淵源亦實存乎此  
爾臣民孝于父母友于兄弟友

婦相和朋友相佐恭儉持己博  
書及竅修學習業以啟發智德  
成於德器進廣公益并去物者

重國憲為國法一旦緩急必義  
勇在公以扶翼其壞無窮之皇  
運如是者不獨為朕忠良臣民

又足以彰彰爾祖先之遺風矣  
斯道也實我皇祖皇宗之遺訓  
而子孫臣民之所當遵也

古今而不課施法中外而不悖  
朕庶幾與爾臣民俾壽考報  
膺咸一于地



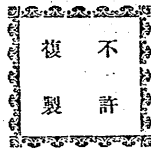
2020:7  
N

# 松石香川學書



明治三十九年十二月十八日印刷  
 明治三十九年十二月廿二日發行  
 明治四十三年十二月一日 修訂再版印刷  
 明治四十三年十二月五日 修訂再版發行

定價金貳拾錢



編輯者 香川 熊藏  
 發行兼印刷者 三樹 一平  
 專務取締役

東京市神田區南乘物町九十番地

明治圖書株式會社

三樹 一平

發行所

電話本局八九二番  
 電話本局一六四番

明治圖書株式會社

